

平成16年12月 検定試験

〔No.26〕 スチール・ベルト式無段変速機(CVT)に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) プライマリ・プーリ及びセカンダリ・プーリは共に同一傾斜面を持つ固定シーブと可動シーブが対向配置され、可動シーブ側背面に油圧室を設けている。
- (2) ライン・プレッシャ制御は、エンジン回転速度、スロットル開度などの信号をもとにセカンダリ・バルブを作動させてライン・プレッシャを制御し、スチール・ベルトによるトルクの伝達に必要なライン・プレッシャを発生させる。
- (3) 変速制御は、エンジン回転速度、スロットル開度、入出力回転速度などの信号をもとにプライマリ・バルブを作動させてプライマリ・プレッシャを制御し、スチール・ベルトによる変速を行う。
- (4) プライマリ・プーリの油圧室の受圧面積は、セカンダリ側の面積より小さいため、ライン・プレッシャより大きな圧力で溝幅を制御することが必要である。